

令和7年度 第3回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月22日（火） 13時30分から14時30分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 ふれあいルーム
- 3 出席委員 神間 智博、牧田 景子、中安 和美、山本 昌美
- 4 欠席委員 石田 由紀子、長谷川 卓人、高山 隆
- 5 オブザーバー 伊藤 賢典（都田協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 笠原 真衣、
- 7 学 校 山下 淳（校長）、夏目 千香子（教頭）、古田 広己（教務主任）、
谷野 文彦（CS 担当教諭）、服部 美保（CS ディレクター）、
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 服部 美保
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、牧田景子委員が快諾し
全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）校内教育活動について（協議会委員と教職員とのグループワーク）
- （2）学校評価アンケートについて

12 会議記録

司会の谷野教諭から委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、
会議が成立している旨の報告があった。

- （1）校内教育活動について（協議会委員と教職員とのグループワーク）

協議会委員と教職員が合同で3つのグループに分かれ、以下の内容について協議
を行いグループごとに意見をまとめた。最後にグループの代表が発表をした。

- ・本校児童のよい表れ
- ・課題と思われること
- ・必要な支援

A グループ

- ・素直な子が多い。明るくのびのびしている。
- ・先生方の個性がある。子ども達の良いところをよく知っている。
- ・自然が豊か。空が広く見え子どもが育つ環境に最適。
- ・言葉遣いが気になる。あいさつが課題。伝える力が課題。距離が近すぎてトラブルになることがある
- ・支援が必要な子が多く、ボランティア等の支援が必要。20分休み、昼休み中の遊びの見届け。クラブ活動の講師を見付けてほしい。

B グループ

- ・目標に向かい一生懸命に取り組むことができる。
- ・上級生が下級生の面倒をよく見る。
- ・時刻を守る。真面目だが自主性は弱い。

- ・放課後、男女学年関係なく一緒に遊ぶことができる。
- ・外遊びが好きな子が多く元気よく遊ぶ。
- ・校舎内がきれい。
- ・地域の方のボランティアが素晴らしい。その反面、支えてくれている地域の方への貢献ができていないか。感謝の伝え方やあいさつが課題。(発信力、表現力)

Cグループ

- ・学区に公園がたくさんある。図書館、音楽ホールなど施設やお店も様々ある。
- ・卒業生の保護者ボランティアが大活躍している。現役保護者ボランティアが増えてほしい。
- ・共働き世帯が多く、裕福であるが家庭の支援が薄い傾向。学習習慣の格差がある。
- ・休み時間等運動場や森、教室での見守りが必要。プールの見守りも必要。算数、作文、裁縫等是一对一の支援の必要な子が各クラスにいる。面倒くさがっていても、付き添ってあげれば頑張れる子もいる。授業時間の見守りが必要。

まとめ

先生方とのグループワークを通して、現在学校でどのような支援が必要なのかを知ることができた。今回先生方から出された意見がそのままにならないよう、都田地区の団体に働きかけたりして学校の支援ができるようにしたい。(神間委員)

(2) 学校評価アンケートについて

古田教務主任から、今年度の学校評価アンケートについての説明があった。

委員からは以下の発言があった。

- ・質問8～13(学び合う子)は子どもの様子からはわかりづらい。子ども本人でないとわからない。親目線から自分の子どもだと謙遜して答える可能性もある。(笠原学校支援CD)
- ・子どもが学校で何をしているのかは親にはほとんどわからない。質問の仕方を「学校での出来事を子どもと話していますか？」にしたら、子どもとの会話が大切だと気づき、親の意識が変わると思う。(牧田学校支援CD)
- ・質問13「子供は、地域の人、文化や歴史、自然を通して学習を深めている。」も難しい。「勉強の内容についてわからないことを聞くことができますか？」のような聞き方でも良いと思う。(牧田学校支援CD)
- ・この地域の良さは子どものほうが答えられるかもしれない。(神間委員・牧田学校支援CD)
- ・委員の皆様から頂いた意見をもとに、質問等見直せるところは見直していきたい。(古田教務主任)

報告

笠原委員からCSの活動報告があった。